

平成 20 年度用高等学校理科 高等学校 生物 I 改訂版 (生 I 019)

平成 21 年度用教科書では以下について訂正致します。ご迷惑をお掛け致しますこと、謹んでお詫び申し上げますと共に、ご指導に際しまして、ご配慮戴きますようお願い申し上げます。 (株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原 文	訂 正文
頁	行		
179	3	<u>カイコ</u> 性ホルモン	<u>カイコガ</u> 性フェロモン
182	図35 キャプション	<u>河口付近に生息</u> <u>河口域</u> (外液の浸透圧が大きく変化する <u>環境</u> ) にすむ種	<u>川と海を往復</u> <u>川と海を往復</u> (外液の浸透圧が大きく変化する) <u>する種</u>

改善のための訂正

訂正箇所		原 文	訂 正文
頁	行		
41	14	<u>2個の細胞を</u>	細胞を
78	5	<u>花粉四分子</u>	<small>かふんしぶんし</small> <u>花粉四分子</u>
81	8	<u>花粉管内の精原細胞から精子が形成され</u>	<u>花粉管から精子が放出され</u>
145	30	<u>(3) 上記の実験を後期原腸胚を使って行った場合、どのような胚ができるか。</u>	削除
	31	<u>(4)</u>	<u>(3)</u>
162	13	<u>随意筋</u>	<small>ずいじん</small> <u>随意筋</u>
168	4	<u>灰白質</u>	<small>かいぱくしつ</small> <u>灰白質</u>
	5	<u>髄質</u>	<small>ずいしつ</small> <u>髄質</u>
169	10	<u>腹根</u>	<small>ふくこん</small> <u>腹根</u>
	11	<u>背根</u>	<small>はいこん</small> <u>背根</u>
170	5	<u>筋紡錘</u>	<small>きんぼうすい</small> <u>筋紡錘</u>
	18	<u>介在神経</u>	<small>かいざいしんじ</small> <u>介在神経</u>
	21	脳が反射の中枢になることもある。	<u>延髄や中脳が反射の中枢になることもある。</u>
	21-23	<u>瞳孔が光の照射により収縮する反射の中枢は中脳にある。顔に水がかかったとき、思わず目を閉じるまばたき反射も中脳のかかわる反射である。だ液を分泌する反射の中枢は延髄にある。</u>	<u>たとえば、だ液を分泌する反射の中枢は延髄にある。瞳孔が光の照射により収縮する反射の中枢は中脳にある。</u>
171	図29	(介在神経から左側を上行する赤太破線までの、中心管より腹側の髄質に、赤太破線を追加。それに伴い、脊髓横断面図を拡大。)	
184	図38 右表	20~40万個	<u>20万</u> ~40万個
189	右上図	捕食されようとしている <u>納豆菌</u>	捕食されている <u>納豆菌</u>